

米国 輸出の堅調さを背景に貿易赤字は前月から縮小 (06年11月貿易統計)

2007年1月10日(水)

～10-12月期の純輸出はプラス寄与に～

第一生命経済研究所 経済調査部

桂畑 誠治(かつらはた せいじ)

 (03-5221-5001 : seiji@dlri.dai-ichi-life.co.jp)

貿易収支 (U.S. International Trade in Goods and Services)

	貿易収支			輸出		輸入			
	Balance	財 Goods	サービス Services	Exports	財 Goods	Imports	財 Goods		
06/04	▲634.26	▲695.68	+61.42	+0.1	(+10.2)	▲0.6	+0.8	(+10.6)	+0.9
06/05	▲651.68	▲710.17	+58.49	+2.2	(+12.6)	+2.7	+2.4	(+13.4)	+2.4
06/06	▲645.19	▲700.13	+54.94	+2.3	(+14.5)	+3.4	+1.1	(+13.0)	+1.2
06/07	▲675.36	▲734.50	+59.14	▲1.1	(+12.6)	▲1.7	+0.9	(+13.9)	+1.2
06/08	▲685.23	▲748.68	+63.45	+2.3	(+13.7)	+3.0	+2.0	(+14.7)	+2.5
06/09	▲642.59	▲702.94	+60.35	+0.5	(+16.0)	+0.6	▲1.9	(+9.5)	▲2.5
06/10	▲588.04	▲650.27	+62.23	+0.3	(+13.9)	▲0.1	▲2.7	(+4.2)	▲3.4
06/11	▲582.33	▲646.99	+64.66	+0.9	(+13.4)	+0.7	+0.3	(+5.2)	+0.2

(注1) 季節調整値。貿易収支の単位は億ドル。

(注2) 輸出入の数字は前月比。カッコ内は前年同月比。

	輸出				輸入					
	産業資材 *1	資本財 *2	自動車 *3	消費財 *4	産業資材	資本財	自動車	消費財		
06/05	+2.8	+3.2	+2.3	▲1.3	+5.1	+2.4	+7.9	+0.5	▲2.4	+0.6
06/06	+3.3	+3.3	+2.7	+4.9	+1.8	+1.2	▲1.3	▲0.1	+6.2	+3.2
06/07	▲1.5	▲2.6	▲3.8	+7.2	+1.2	+1.2	+4.1	+2.1	▲5.7	+0.3
06/08	+3.1	+2.3	+3.8	▲1.4	+2.1	+2.5	+3.1	+2.7	+2.2	+1.5
06/09	+0.7	+4.2	+2.0	▲7.1	▲3.2	▲2.4	▲6.4	▲1.5	▲1.7	+1.7
06/10	▲0.1	▲1.7	+0.1	▲0.7	+3.7	▲3.4	▲10.3	▲0.8	▲1.4	+0.5
06/11	+1.0	▲1.1	+1.9	+3.7	+1.4	+0.2	▲2.1	+0.9	+1.5	+2.3

(注) 季調済前月比伸び率。

*1: Industrial supplies and materials

*2: Capital goods, except automobiles

*3: Automobiles vehicles, parts and engines

*4: Consumer goods, except automobiles

	輸出						輸入					
	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本	カナダ	中南米	EU	太平洋工業国	日本		
06/05	+15.5	+11.9	+15.8	+14.5	+17.6	+15.9	+16.6	+12.1	+17.9	+9.3	+13.6	+11.1
06/06	+16.2	+11.7	+16.4	+23.2	+15.5	+7.1	+13.4	+11.1	+16.0	+7.0	+9.3	+3.1
06/07	+13.5	+12.9	+16.1	+11.3	+14.4	+3.9	+15.4	+6.9	+18.9	+14.4	+13.1	+10.1
06/08	+15.5	+11.1	+15.1	+21.4	+10.4	+3.1	+14.5	+5.2	+19.4	+11.9	+14.7	+9.7
06/09	+18.9	+4.8	+16.4	+25.1	+21.8	+15.4	+8.4	▲3.9	+11.0	+2.0	+13.4	+9.3
06/10	+16.2	+6.4	+20.2	+18.5	+13.8	+12.4	+5.3	▲8.3	+7.9	+2.0	+13.7	+12.8
06/11	+15.7	+5.8	+17.0	+14.6	+20.0	+9.6	+4.3	▲5.6	+4.7	+1.4	+13.7	+8.6

(注1) 未季調前年比伸び率。

(注2) 中南米はメキシコを含む(原統計の「中南米」は含まない)。

582.33億ドルと2005年7月以来の水準まで減少 06年11月の貿易収支(サービスを含む国際収支ベース、季節調整済)は、582.33億ドルと輸出の堅調によって市場コンセンサスの▲600億ドルを下回った(前月比▲1.0%)。財収支の赤字額が縮小したうえ、サービス収支の黒字額が拡大した。なお、10月は▲588.04億ドル(▲588.68億ドル)に下方改定された。

輸出は、民間航空機・同部品、通信機器、半導体、宝石等の拡大により前月比+1.0%増加した。一方、輸入は消費財、自動車の増加等により同+0.2%と3ヵ月ぶりの増加となった。財別では、産業資材は銅、天然ガス、液化石油ガス、燃料油、

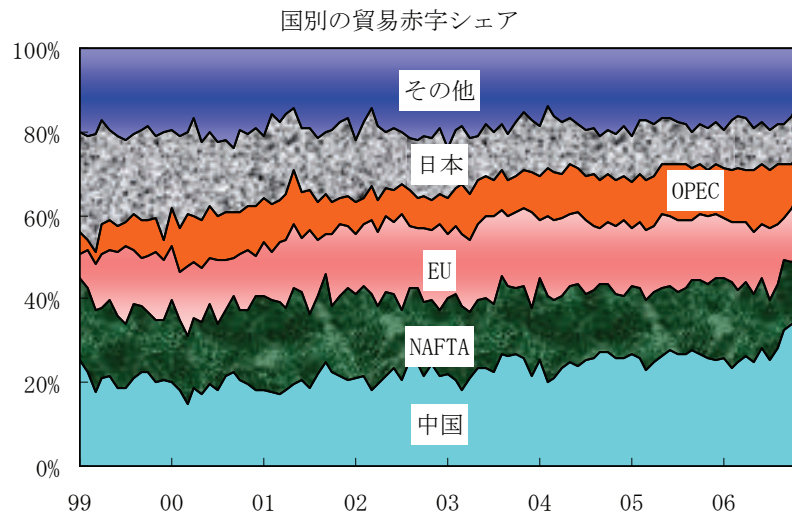
鉄鋼等の減少によって押し下げられた。原油輸入は輸入価格が1バレル=52.25ドルと下落したうえ、輸入量が2億9940.1万バレルと前月から減少したものの季節調整後の数字は前月比+0.4%と小幅増加した。一方、消費財はクリスマス商戦向けのゲーム、TV・VTR、アパレル、デジタル音響機器、処方薬等の増加を映じて拡大した。自動車も増加した。資本財はコンピューター、民間航空機、産業機器、通信機器等の増加により拡大した。

10～12月期の純輸出は再びプラス寄与に

10、11月の実質財サービス貿易赤字が7～9月期から縮小したことから、10～12月期の純輸出はGDPを前期比年率で+0.8%程度押し上げる可能性が高い。

対中赤字額のシェアが過去最大

地域別収支では、対中国赤字額が▲229.19億ドル（前年比+23.6%）と前月から縮小したものの貿易赤字全体に占める割合は35.0%に拡大した。対NIE Sが▲0.4億ドル（同▲83.3%）、対日が▲79.01億ドル（同+8.0%）、対OPECは▲68.27億ドル（同▲14.3%）と赤字額が縮小した。一方、対NAFTAが▲108.58億ドル（同▲13.0%）、対欧州は▲95.04億ドル（同▲17.3%）と前月から赤字が増加した。

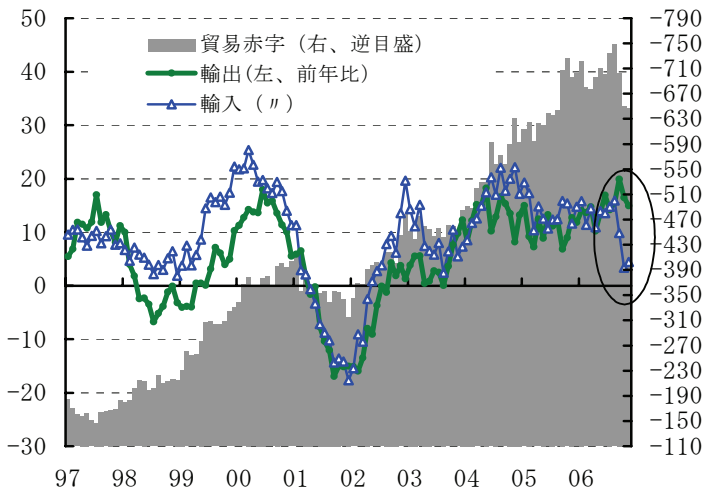


貿易赤字は2007年前半小幅縮小する可能性

今後も、輸出はドル安効果、海外景気の拡大、これまで受注した民間航空機の出荷によって拡大基調を維持すると予想される。一方、輸入は暖冬に伴うエネルギー需要の鈍化や在庫調整によって、緩やかな伸びにとどまろう。この結果、2007年前半の貿易赤字は小幅縮小すると見込まれる。

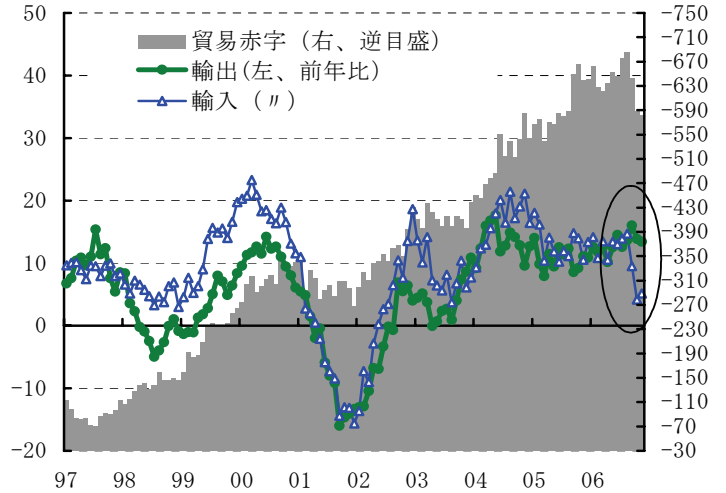
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

(%) 米国貿易動向 (財、BOPベース) (億ドル)



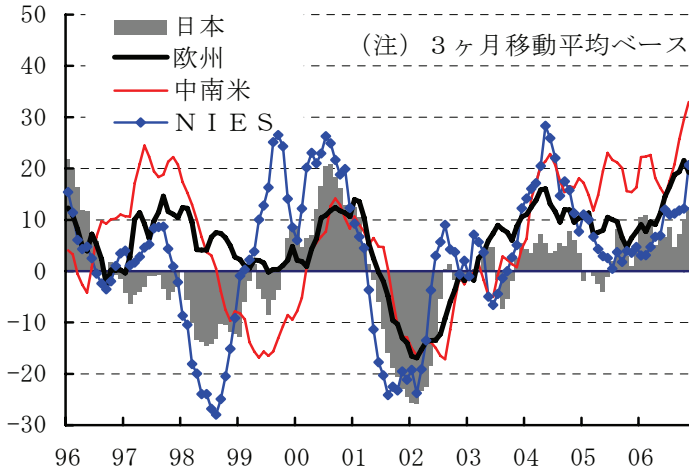
(出所) 米商務省

(%) 米国貿易動向 (億ドル)



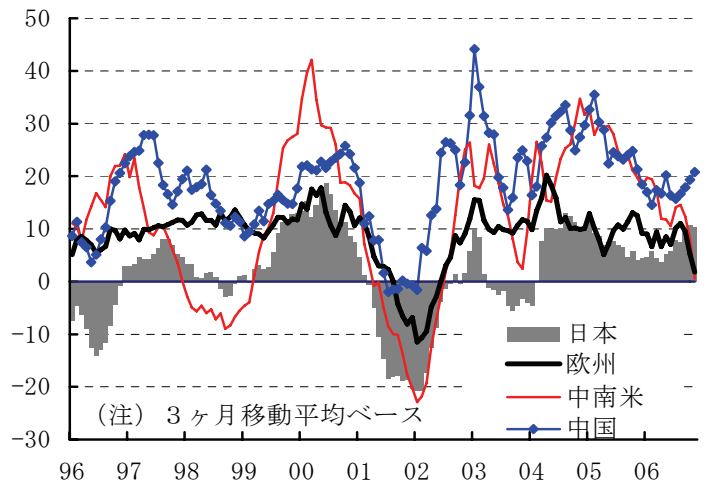
(出所) 米商務省

(%) 地域別輸出 (前年比)



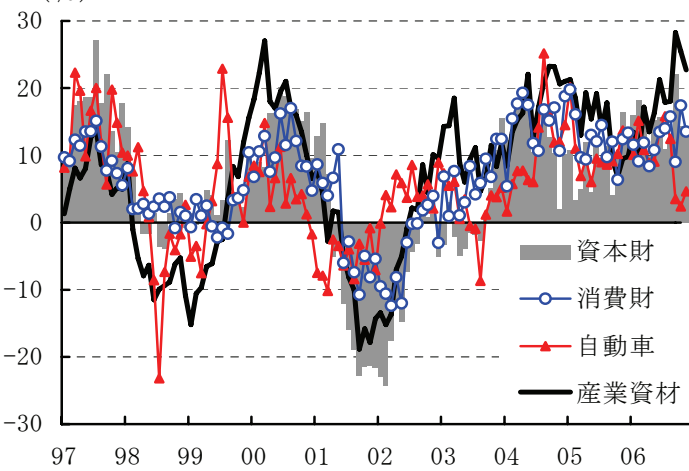
(出所) 米商務省

(%) 地域別輸入 (前年比)



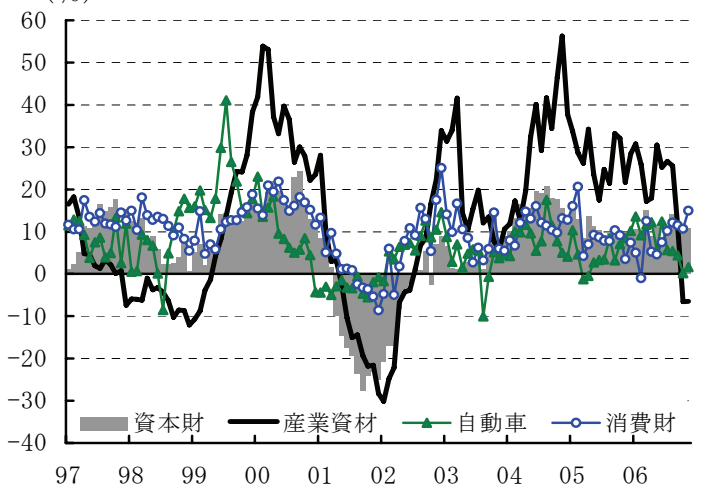
(出所) 米商務省

(%) 財別輸出の推移 (前年比)



(出所) 米商務省

(%) 財別輸入の推移 (前年比)



(出所) 米商務省

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。